

見を市政運営に



談会を開催

10月25日から11月11日の間、5地区において市政懇談会を開催し、約100人(総数)の市民の方に参加をいただきました。

懇談会では、市長・副市長など執行部が市の現状や課題を説明するとともに、出席された市民の皆さんから市政に関する様々なご意見を伺いました。

各地域で出された主なご意見と回答をお知らせします。

【経営管理部・秘書広報課】

協働のまちづくりを推進

現状の取り組みと課題を説明

市政懇談会では、市長から現在、市が取り組んでいる県立下呂温泉病院の移転新築事業などの取り組みや現状(右の別表 下呂市の主な取り組み(現状))を説明。

また、「少子化・高齢化が進む中、少子化による保育園や学校のクラス数の減少、複式学級の増加など教育環境の課題、農林業の後継者不足によ

る農地森林の荒廃問題、高齢者世帯の増加、介護施設の不十分等々、様々な課題への対応が必要です。

これまでの「あれもこれもをやめるか」が迫られており、市民の皆さんに我慢していただかなければならないことも幾つか出てくると思います。

市の組織も縮小され職員も

減っていく中で、これからは自助・互助・共助がどうしても必要になってきます。

人間関係が希薄になっている時代、まだ下呂市には地域コミュニティが残っており、これをより強固なものにしていき、協働のまちづくりを進めたいと考えています。」と、今後のまちづくりの方針を示しました。

【別表】 下呂市の主な取り組み(現状)

事業名	取り組み(現状)
県立下呂温泉病院移転新築事業	県が整備基本計画を発表。(H26年5月の開院予定)市も新築計画検討会に加わり要望や意見調整を実施中。
下呂温泉病院の移転後の跡地利用	跡地は市で取得予定。利用計画は、市職員で構成するプロジェクトチームが中心となり検討。今後は市民等の意見を伺う予定。
金山病院の移転新築事業	実施設計を作成中。H23.3月工事に着手し、H24年秋に開院予定。
医師や看護師等の不足問題	医師を対象とした奨学金制度をH19年度から実施。今年から看護師と助産師を対象にした修学金制度制定。
新クリーンセンター建設計画	7月に「新クリーンセンター建設用地検討委員会」を設立。建設候補地を公募。(11月30日まで募集)
学校の耐震補強工事と統合	昨年度、「学校教育施設整備検討委員会」を組織し、その答申を受け教育上の観点から統合案(小坂地域の2小学校の統合、金山地域の4小学校の統合)を示しました。
地域間交流	木曾川流域を軸とする上流下流の自治体とで水環境、森林環境保全に対する取り組みを通じた交流を推進中。
観光振興	H22.3月に「下呂市観光計画」を策定し、「ホスピタリティ都市」を宣言。7月、中津川市と広域観光振興協議会を設立。
道路整備	1.金山町下原改良(下原側の用地取得) 2.保井戸の屏風岩改良(調査設計) 3.中呂改良(現在、JR交差点で上り車線を施工中) 4.小坂久々野バイパス(現在高山側からトンネル掘削中、来年度中の貫通予定) 5.国道257号の川上Ⅱ期バイパス(調査設計、用地調査) 6.濃飛横断自動車道の金山下呂道路(H24年の国体開催までに供用開始する予定)
農林振興	鳥獣被害対策(集落を囲む防除柵の設置、電気柵の資材支援、モンキードックの養成支援、追い払い隊によるパトロールの実施)。 耕作放棄地を解消すべく水稻以外の作物を作付けした農家に対し支援。今年度より「下呂市森林集約化協議会」を設置し、国の改革に対応を検討。
商工業振興	融資枠の拡大。雇用創造事業の実施、プレミアム商品券の発行助成など雇用対策や消費拡大。



～10月25日から11月11日～

市政懇

〔主な質問と回答〕

〔観光施策〕

Q 市政は、下呂温泉が中心になっている。150万人の誘客は可能か。

A 150万人の誘客は難しい状況ですが、現在、観光計画において市内の観光資源の掘り起こしを行い、名古屋と東京に職員を派遣してPR活動を行っています。また、下呂に訪れた方が気持ちよく滞在してもらう目的で、ポスピタリティ（おもてなし）宣言をするなど、誘客に努めています。

〔廃棄物処理施設建設計画〕

Q 現在の場所で代替え地はないのか。水量等の規制があり、住民から応募により候補地を出すことは無理ではないか。

A 現施設を建設する際、地元との協議で、「今後この場所には作らない」との覚書があることから現場での建設はできません。

検討委員会で、区長さんからも今回の応募は無理だと意

見をいただきました。しかし昨年、行政が中心となって進めてきた計画を断念した経緯などについて説明。市民の皆さんも一緒になって検討いただけるようお願いし、応募としました。

〔鳥獣害対策〕

Q 鳥獣による農作物の被害が多発している。市内には里山が少なく、人と里山との緩衝地帯を作ってほしい。

A 即効果はありませんが、駆除や防除、里山づくりなど総合的に行っていきます。

まず、山林を集約化し、山の仕事を増やします。若い世代の定住化を促進しながら、山などの天然資源を活かした取組みを検討しています。

〔商工業に関する取組み〕

Q 金山地域で企業（工場）の拡張計画がある。市として協力体制と新たな企業誘致をお願いしたい。

A 計画されている工場の拡張は、200人規模の雇用につ

ながることから、出来るだけの協力をしていきます。

新たな企業誘致については、都市部などと立地条件が違います。市としては、農地を守りながら、出来る範囲のことを検討し、また県や産業センターなどと一緒に地域活性化を進めていきます。

Q 商工会も厳しい状況で、現状を維持するには補助金が頼りである。商工会があつて地域が活性化する。

A 商工会における地域への熱意は強く感じており、市としても国や県などの助成制度の紹介や、プレミアム商品券の助成など出来る限りの支援策を検討しています。

〔少子高齢化対策〕

Q 少子高齢化への不安が地域では強く、高齢者介護（在宅介護が限界）、雇用不安などにつながっているが。

A 少子高齢化は市全体の問題で、過疎化対策や、雇用の創出は総合的な問題ですが、観

光や農林業など産業の発展、子育てしやすい環境づくりなど、一つひとつの施策を充実させて、元気な下呂市を作っていきます。

〔下呂市政の方針〕

Q 現状の下呂市を踏まえ、皆が危機感をもつ必要があるのではないか。

A 現代社会は環境の豊かさの価値観を得る時代となり、市内にはこれらの資源が豊富にあります。このことから、産業の柱として観光と農林業を結びつけるなど、各種施策を充実させ現状の危機感を持ちながら、着実に実行していきます。

〔懇談会の開催に当たって〕

Q 出席者が少ない。市民は市政に対する期待感がないのではないか。

A 色々な手法でご案内しましたが、周知が十分ではなかったかもしれません。これらのことを踏まえ、懇談会が終了した後、周知方法や内容などを検討していきます。

〔懇談会をふりかえって〕

各地域とも参加者が少なかつたことは、残念な結果でありました。これを踏まえ現在、懇談会の在り方について色々な角度から検証しています。

懇談会では、概ね30項目にわたるご意見が出され、拝聴したご意見を精査しながら、今後の市政運営や施策の作成時に活かしていきたいと考えています。

市長 野村 誠